

分類のヒミツを学習してみよう



第2回目は、『図書館の本の分類(ぶらるい)』について学習をしました。図書館にはたくさん本がありますが、あるルールを使って、さくく正しくならべられています。その本に書かれた内容を仲間わけしていくことです。図書館の本は、この仲間わけされた本ごとに並んでいます。仲間わけするためのルールを図書館では日本十進分類法(NDC)と呼んでおり、そのしくみや意味がわかります。本をかんと探すことができます。本の分類は数字で表されています。参加した子ども司書の皆さんもずっと不思議に思っていたようです。実際に何冊か本を見せながらすすめていくと、数字の意味がだんだんわかっていったようです。

第5期子ども司書講座

新聞

第2号

分類のしくみと意味を調べよう

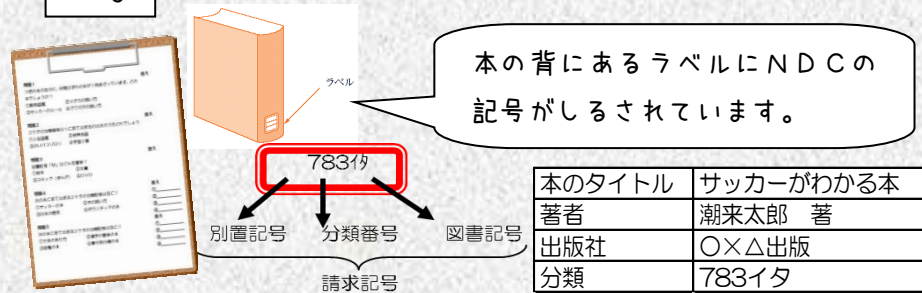
図書館の本をものごたり、歴史、科学、動物などのように、仲間ごとに分けて本棚に並べています。むずかしく感じるけれど、仲間わけしないと本がバラバラになってさがすときに苦労してしまいます。どんなルールになっているのか、少しだけ紹介します。まずは、本の内容を大きく9つに分け、どこにもわけられない内容を「0」とし、合計10の個にわけられます。そしてそれぞれの分類についてさらに10の個にわけていきます。

たとえば、「芸術・スポーツ」のグループを見てみましょう。絵画や音楽、スポーツなどいろいろなテーマの本があるので、それをさらに0～9の数字を使って10の個にわけます。このように、仲間わけをくりかえしていくのがNDCのしくみです。野球やサッカーなどの球技に関する本なら、「783」というグループに分類されるわけです。『どんな意味があるのかかわらなかつた』という子もいましたが、いろいろな本と分類を調べていくにつれて、しくみもバツリ理解できたようです。



(1ケタ目の分類)	(2ケタ目の分類)	(3ケタ目の分類)
0 総記	70 芸術全般	780 スポーツ全般
1 哲学・宗教	71 彫刻	781 体操
2 歴史・旅行	72 絵画	782 陸上競技
3 社会科学	73 版画	783 球技
4 自然科学・医学	74 写真	784 冬季競技
5 技術工学	75 工芸	785 水上競技
6 産業	76 音楽	786 登山
7 芸術・スポーツ	77 演劇・映画	787 釣り
8 言語	78 スポーツ	788 相撲
9 文学	79 遊び	789 武道

このように仲間分けしているよ！



次回の講座予定

次回の講座は、7月19日(日)午前10時～です。本の探し方や窓口体験の練習をしますよ!!



クイズにチャレンジ! 分類の説明が終わったあとは、クイズにチャレンジしました。本の内容に合わせてどんな分類の数字があてはまるか? どんなグループに分けられるか? 実際に本を見ながらやりました。みんなそれぞれ協力してクイズに挑戦していました!